

令和2年度における日本消防協会の主な事業

公益財団法人 日本消防協会

今年度は、東日本大震災から10年を迎えます。震災を契機として制定されました「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」のもと、地域にあっては消防団が中核となりながら、地域の総力を結集した地域防災力の充実強化に取り組んでおりますが、一方で、最近の自然災害は、頻発化、激甚化しており、日本だけでなく世界中で思いがけないものが増えてきています。

そのようななか、日本消防協会では、今年度、懸案であります新日本消防会館の建設工事に着手することから、事務所も仮移転となりますが、日本消防協会として必要な各般の施策は、全国の消防関係者と力を合わせて、これまでどおりしっかりと実施していかなければなりません。

令和2年度は、このような基本姿勢のもと、引き続き以下の必要な各般の施策を実施します。

- 地域防災の要となる消防団の充実強化は益々重要になることから、最近の災害事例も踏まえ、毎年度作成する消防団員や自主防災組織等を育成する指導的な立場に立つ消防団員の指導用テキストを改訂充実するとともに、全国の消防団が新時代に対応した消防団運営に活用して頂くための最新の活動事例集を作成します。
- 消防団活動を広報し、消防団員の確保等に資するため、消防応援団等の著名人をゲストに迎え、消防団員の出演によるラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を毎週日曜日（地域によっては土曜日）に放送します。
- 消防団の皆さんの装備・資機材の改善充実を進めるための取組を行うとともに、全国の消防団員をサービスの対象とする全国消防団応援の店の取組を推進するほか、消防団員の安全や福祉を向上するための各種事業を引き続き実施してまいります。
- 福祉共済事業の運営等により、消防団員等の万が一の事故に備える等福祉の確保を図るとともに、9月には全国消防殉職者慰霊祭を実施してまいります。
- 長年消防活動に従事された団又は団職員等を表彰する優良消防団員等表彰式を令和3年3月に実施します。
- 内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会が推進し、当協会が協力する「防災推進国民大会2020」が、10月に広島市で開催されます。
- 当協会が全面協力する消防庁主催の全国少年消防クラブ交流大会が9月に鳥取県米子市で開催されます。その経験や成果が全国約5,000クラブ、約41万人の少年消防クラブの今後の活動にいかされるものと期待しています。
- 全国の消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的として、10月に千葉県市原市において全国消防操法大会を開催します（※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）。また、毎年3,000人を超える皆さんが参加・意見交換する全国女性消防団員活性化大会は11月に徳島市で開催します。
- 各方面のご協力を頂いて、日本消防の総合的な中核拠点であるとともに、市町村自治の一層の発展に貢献することをめざし、新日本消防会館の建設を進めます。

消防団員セーフティ・ファーストエイド研修等の御案内

消防団員等公務災害補償等共済基金（消防基金）

消防基金では、負傷した消防団員に対する外科的応急処置（写真）と、惨事ストレスを発症した消防団員に対する心理的応急処置について、実技を交えて学習する「消防団員セーフティ・ファーストエイド研修」を行っています。受講した消防団員の方々からは大変好評をいただいています。



【外科的応急処置の実技の様子】

また、次の研修を実施する場合にも、講師のあっせんや経費の助成を行っています。

- ・消防団員安全管理セミナー
- ・S-KYT（消防団危険予知訓練）研修
- ・消防団員健康づくりセミナー

消防団員の公務災害防止を図るため、これらの研修の積極的な活用をお願いします。

【問合せ先】 消防基金企画課（E-mail：kikaku@syouboukikin.jp／電話：03-3595-0544）

【参考資料】 研修の詳細については、消防基金HP（各種ダウンロードのページ）に掲載の次の資料を御覧ください。

- ・「消防団員公務災害防止研修事業実施要領」（PDF）
 - ・パンフレット「消防団員公務災害防止研修会のごあんない」（PDF）
- 「消防基金HPトップページ」⇒「各種ダウンロードのページ」
（URLは、<http://www.syouboukikin.jp/download/> です。）



地域防災の推進のための令和2年度の取組

一般財団法人 消防防災科学センター

当センターでは、地域防災の推進のためさまざまな事業に取り組んでいます。ぜひ、ご活用ください。

【防災啓発中央研修会の開催】

当センターでは、地震や火山のメカニズム、災害の教訓などをテーマに、一般住民の皆様や地方公務員の方々を対象とした講演会を、総務省消防庁及び関係都道府県との共催で開催しています。令和2年度は、東京都において防災啓発中央研修会を5月に予定していましたが、11月に延期して実施する予定です。

【ホームページを通じた各地の防災訓練の紹介】

当センターでは、各地で取り組まれている防災訓練の様子をホームページ（消防防災博物館）で紹介しています（動画）。みなさんの地域での今後の取組のヒントとなれば幸いです。

- 津波避難計画に基づく避難訓練（岩手県大槌町安渡地区）
- 釜石避難訓練 韋駄天（いだてん）競争（岩手県釜石市）
- 非常持ち出し品チェック（愛知県半田市岩滑区）
- 夜間津波避難訓練（静岡県牧之原市地頭方区）等

URL：<https://www.bousaihaku.com/video/>



釜石避難訓練 韋駄天競争

【「外国人のための防災冊子「地震に自信を」」の作成】

大地震から身を守るための共通ポイントや、最低限必要と思われる事項について紹介する冊子を、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ポルトガル語版の5種類作成しています。ホームページからダウンロードできます。ご活用ください。

URL：<https://www.bousai-kensyu.com/knowhow/pamphlet01/>



【避難所HUG（風水害版）の貸し出し】

避難所の開設や運営についてゲーム感覚で考えることができる避難所HUG（ハグ）の風水害版を、地震版を開発した静岡県と共同で開発しました。大雨を想定して、避難所の開設・運営の大変さや留意点を関係者が集まって考えることができます。関係教材の貸し出しも行っていますので、みなさんの地域でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

（連絡先：研究開発部 齋藤・小松 TEL (0422) 24-7803）



防火思想普及・危機管理意識の高揚を目指して

一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

当協会は、防火に関する調査研究とその推進及び資料等の提供、国民保護等の危機管理に関する調査研究・普及啓発などの各種事業を通じて、防火・危機管理体制の充実発展に寄与することを目指しています。

■防火ポスター

毎年度秋と春の全国火災予防運動を広く周知するため、防火ポスターを作成し、全国の消防機関等に配布しています（令和2年度各15万3,000枚を配布予定）。



令和元年度春のポスター

大阪市、札幌市（11月）、の4箇所で開催の予定）。さらに、自主的な避難の判断に重要な防災情報についての解説等災害時の危機に際して必要な実用的知識を紹介した危機管理のためのハンドブック、災害避難時の防災食に関する知識を盛り込んだ防災小冊子などを作成し、市町村、消防本部等を通じて地域住民の方々に配布する予定です。

■林野火災防止用標識

入山者に対する林野火災防止の啓発を図るため、標識を作成し、全国の消防本部に配布しています（令和2年度は、80消防本部、3,500枚を配布予定）。



令和元年度の標識

■住宅防火対策の推進

住宅防火・防災対策の推進のためのシンポジウムを全国で開催してきています（令和2年度は、愛知県名古屋市（11月）、群馬県前橋市（11月）、長崎県長崎市（1月）の3箇所で開催の予定）。



令和元年度住宅防火防災対策推進シンポジウム（磐田市）

■危機管理体制調査研究

地方自治体の防災・危機管理業務に資する調査研究を実施するとともに、危機管理担当者等を対象に研究会を開催しています（令和2年度は、福岡市、東京都（8月）、



令和元年度研究会（東京会場）

また、地元CATVと連携した住宅防火広報番組の制作（令和2年度は、新潟県佐渡市（10月）、神奈川県座間市（11月）、鳥取県日吉津村（12月）、栃木県小山市（2月）の4箇所を予定）、展示会への出展、各種住宅防火広報資料の作成・配布による住宅防火思想の普及に努めています。